

## 〈 施工説明書 〉

## 造り付け家具

ソフトアート

株式会社 **ウッドワン** 〒738-0023  
広島県廿日市市下平良1-12-1商品相談窓口 **フリーダイヤル**  
**0120-813-331**

【受付時間】平日8:30～17:00 【休日】土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

**警告**

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。  
確実に守ってください。

**注意!**

- ・上部ユニットの耐荷重は1ボックスあたり40kg。  
耐荷重を超えて収納しますとユニットが脱落する原因となり危険です。

**注意**

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

- ・**屋内専用。**  
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。
- ・**棚板の耐荷重は1枚当たり20kg。**  
棚板の耐荷重を越えて収納しますと棚板が破損したり脱落してケガの原因となります。
- ・**引出しの耐荷重は1杯当たり20kg。**  
引出し1杯の耐荷重を越えて収納しますと底板が破損したり脱落してケガの原因となります。
- ・**ヒンジを分解したりしない。**  
扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。
- ・**ガラスに強い衝撃を与えない。**  
扉(ガラスタイプ)に強い衝撃を与えるとガラスが割れてケガの原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・**確実にヒンジと座金をジョイントする。**  
扉取り付け用のヒンジが確実に座金とジョイントされていないと、扉が脱落してケガの原因となりますので、確実にヒンジと座金をジョイントしてください。
- ・**確実にキャビネット同士を連結する。**  
キャビネット同士が連結金具で確実に連結されていないと、キャビネットが転倒・脱落してケガの原因となりますので、確実にキャビネット同士を連結してください。
- ・**開梱後は換気を行なう。**  
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・**確実にキャビネットと壁面を固定する。**  
キャビネットがあらかじめ間柱・補強材等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

## 施工終了後

## ◆ 養生

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着力が強く、化粧単板および塗膜のハガレの原因になりますので、別売りの養生テープ(ZY0211)をご使用ください。

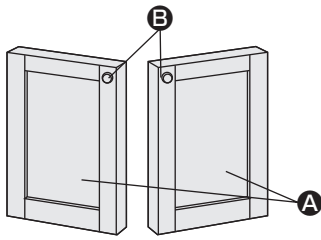
## ◆ お手入れのしかた

キャビネットが汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く搾ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

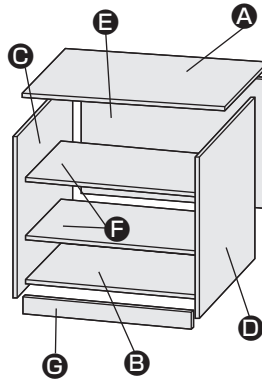
# 1. 開梱

梱包を開いたら、本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。  
天板カウンターは別途弊社集成カウンターもしくは専用カウンターをご使用ください。

扉本体  
全体図



キャビネット (巾木仕様)  
全体図



梱包内訳表<扉本体>

	部材名	数量	備考
A	扉本体	2枚	
B	取っ手	2個	ビス付
	スライドヒンジ(扉側)	4個	
	スライドヒンジ(座金)	4個	

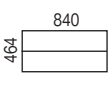
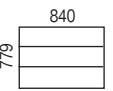
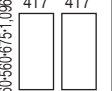
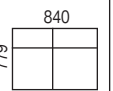
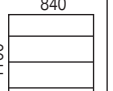
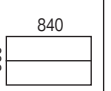
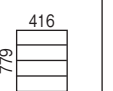
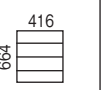
梱包内訳表<キャビネット本体>

部材名	備考	部材名	備考
A 天板(木ダボ付)	天地兼用		棚ダボ
B 地板(木ダボ付)	天地兼用		背板用ネジ
C 側板(左用)			カウンター・壁面取り付けビス
D 側板(右用)			連結金具
E 背板			ビスワッシャー
F 可動棚			キャップ
G 巾木			


※数量はアイテム別内訳参照

## 開梱内訳

品名	キャビネット								引き出し					
	ローキャビ		机用		腰壁高さ		銘銘ポスト		上部ユニット		腰壁高さ		机用	
キャビネット	840		840		840		840		840		420		420	
	464		664		779		779		1100		500		779	
	組立完成品		組立完成品		組立完成品		組立完成品		組立完成品		組立完成品		組立完成品	
奥行	408	306	408	306	408	306	408	306	408	306	408	306	408	306
パネル扉	416 416		416 416		416 416				416 416					
	360		560		675				1096					
ガラス扉	416 416		416 416		416 416				416 416					
	360		560		675				1096					

キャビネット梱包内訳表										
品名	キャビネット							引き出し		
	ローキャビ	机用	腰壁高さ	キャビネット用扉	銘銘ポスト	上部ユニット		腰壁高さ	机用	
										
部材・部品名										
Ⓐ 天板(天地兼用)木ダボ付	1	1	1		組み立て済 ユニット 1セット	組み立て済 ユニット 1セット	組み立て済 ユニット 1セット	組み立て済 ユニット 1セット	組み立て済 ユニット 1セット	組み立て済 ユニット 1セット
Ⓑ 地板(天地兼用)木ダボ付	1	1	1							
Ⓒ 側板(左用)	1	1	1							
Ⓓ 側板(右用)	1	1	1							
Ⓔ 背板	1	1	1							
Ⓕ 可動棚	1	2	2		2	3	1			
Ⓖ 巾木	1	1	1							
☐ 棚ダボ	4	8	8		8	12	4			
🔩 背板用ネジ	14	20	20							
🔩 壁面取付ビス(L=50 <sup>mm</sup> )	2	2	2		2	6	6	2	2	
🔩 カウンター取付ビス(L=32 <sup>mm</sup> )	4	4	4		4			4	4	
🔩 連結金具	3	3	3		3	3	3	3	3	
🔩 ビス・ワッシャー	6	6	6		6	6	6	6	6	
🔩 キャップ	9	9	9		9	9	9	9	9	
🔩 スライドヒンジ(扉側)				4						
🔩 スライドヒンジ(座金)				4						
👉 取っ手				2	4			4	4	
📦 ボンド(10g)	1	1	1							

ユニット梱包内訳表	
品名	専用カウンター
ユニット本体	1セット
小口シート・棧木	2

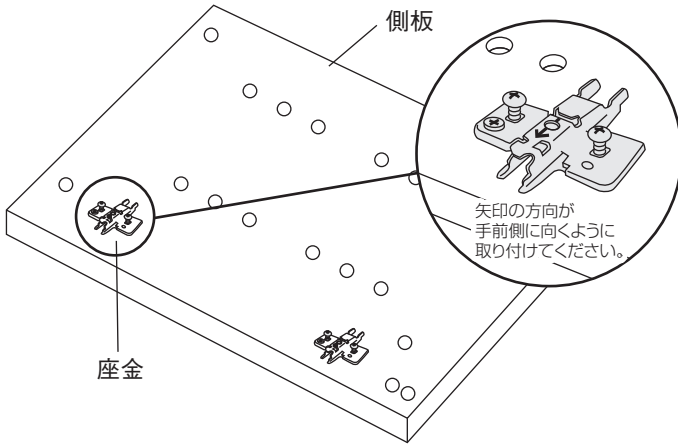
ソフトアート	
取っ手	

# 2. 施工手順

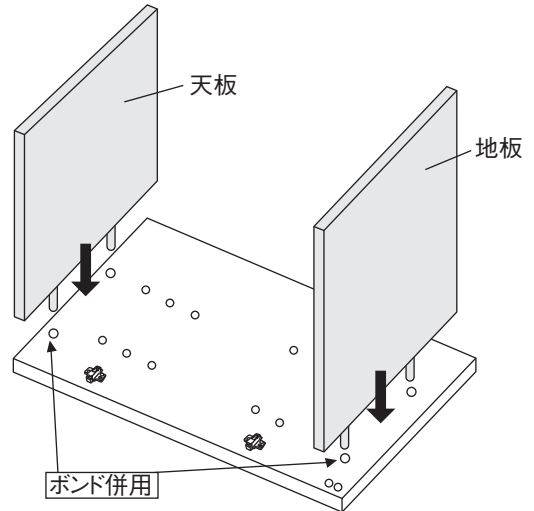
## ① キャビネット(巾木仕様)の組み立て

### 扉付きの場合

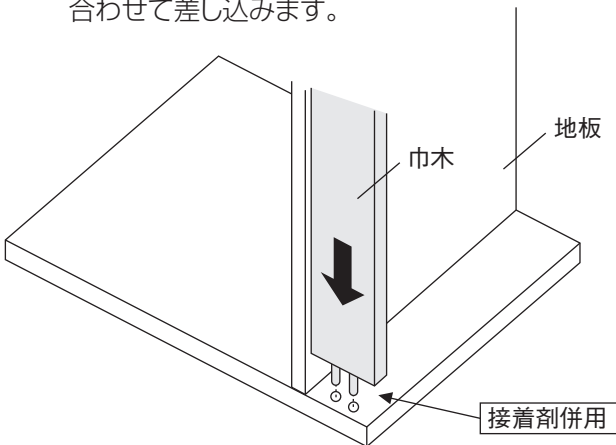
(1) 左右の側板に座金(扉同梱品)を取り付けます。



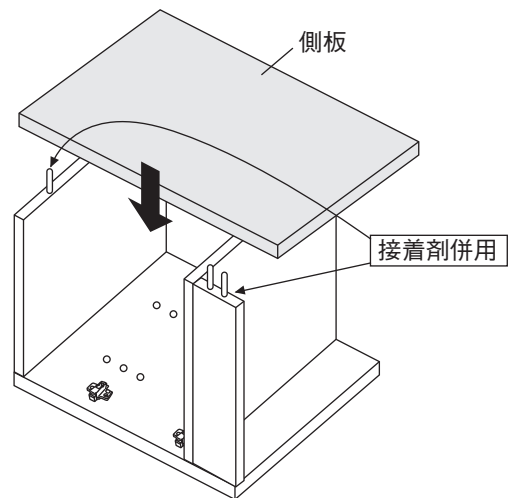
(2) 左右の側板どちらかを床に置き、天・地板を接着剤併用にてダボ穴に合わせて差し込みます。



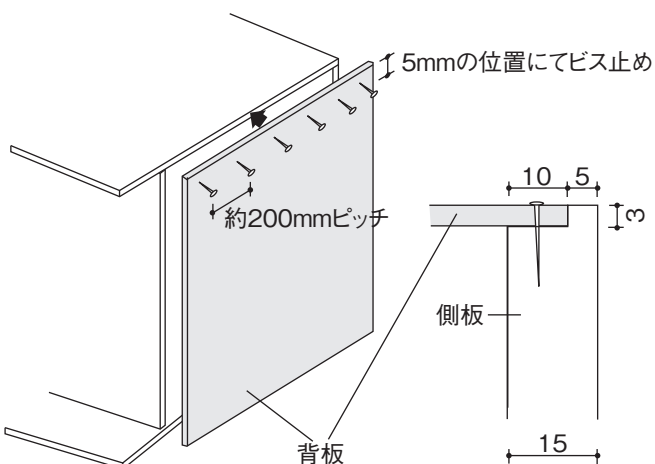
(3) 巾木を接着剤併用にてダボ穴に合わせて差し込みます。



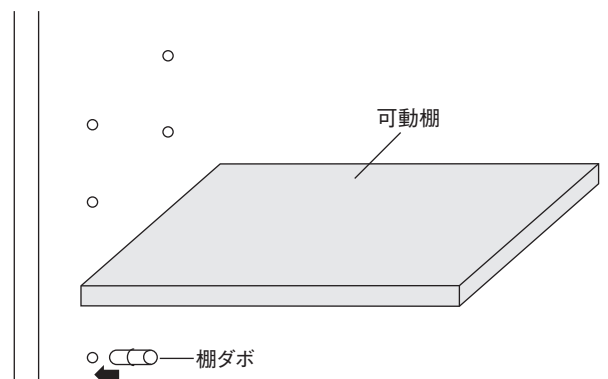
(4) 残りの側板を接着剤併用にて木ダボに合わせて差し込んで固定します。



(5) 側板に切り込んであるミゾに背板をはめ込みます。背板の外側から約5mmの位置に背板用ネジ(同梱品)で約200mm間隔で固定します。



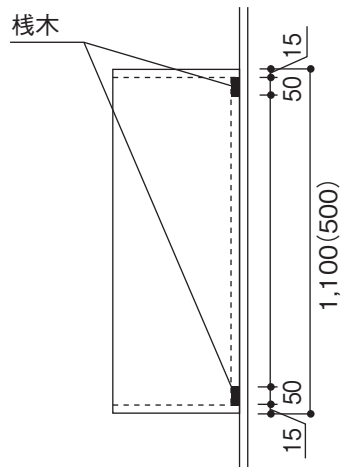
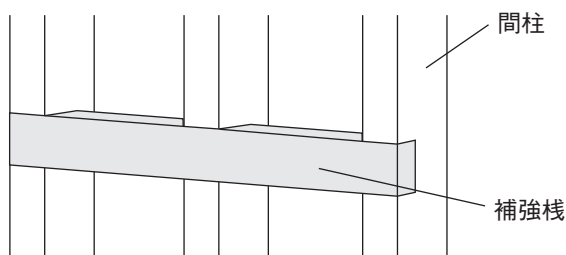
(6) 棚ダボを側板のシステム穴に取り付け可動棚を設置します。



## ② 壁面への固定

### 壁面下地処理(事前に設置)

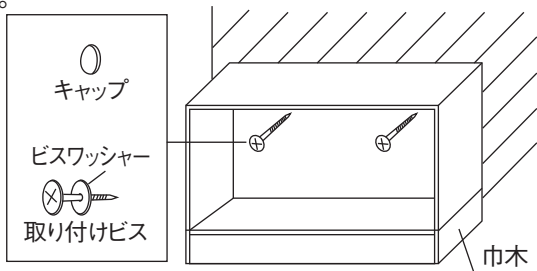
ボックス設置部分にあらかじめ間柱、補強棧等の下地処理を行なった上で、プラスターボード等の壁材を施工してください。



### 床置き施工

#### 壁面下地にビス固定

同梱品の取り付けビスにビスワッシャーを通して背板越しに2ヶ所ビス固定します。ビス取り付け後、キャップ(同梱品)を取り付けてください。引出しユニットについては、引出しを取り外して同様にビス固定してください。

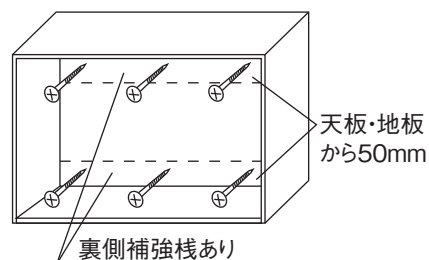


### お願い

特に上部ユニットは下地補強棧木位置を考慮のうえ、取り付けてください。

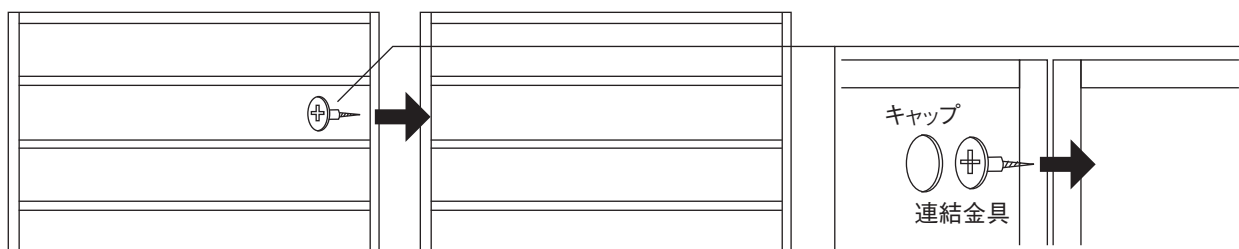
### 吊り施工

壁面下地にビス固定  
背板越しに6ヶ所ビス固定します。ビス取り付け後、キャップ(同梱品)を取り付けてください。

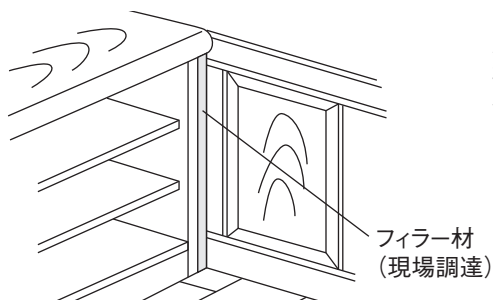


## ③ キャビネットの連結

キャビネット同士を連結する場合、下穴をあけて、連結金具(同梱品)でキャビネット同士が隙間のない様に固定します。その後、キャップ(同梱品)を取り付けてください。



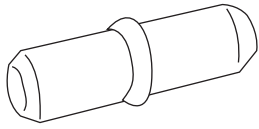
### 腰壁施工時の注意点



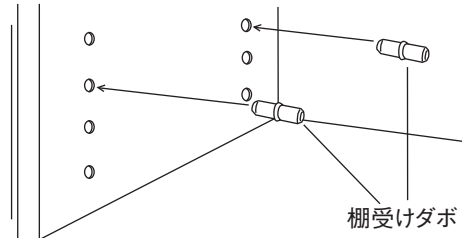
入隅部分で腰壁施工をする際は腰壁の厚み以上のフィラー材(別売品もしくは現場調達)を設置してキャビネットを取り付けしてください。キャビネットに腰壁を直付けしますと扉の開閉が出来なくなります。

## ④ 可動棚の取り付け(各キャビネット共通)

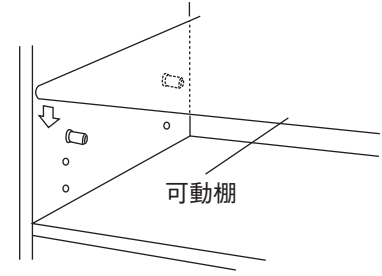
使用する部品  
棚受けダボ



(1) 棚受けダボを側板のシステム穴に差し込みます。

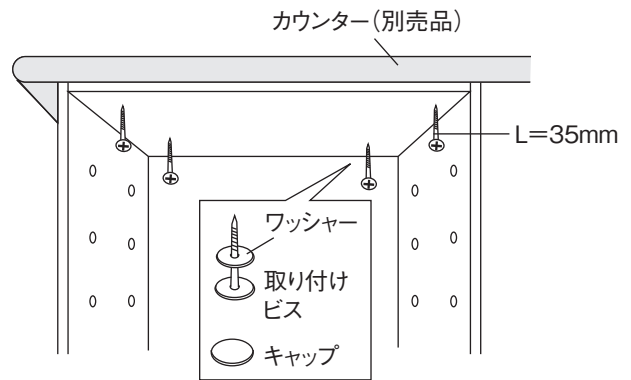
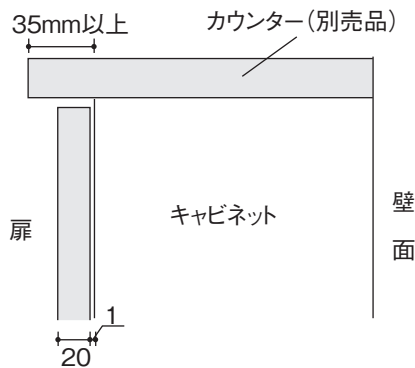


(2) 棚受けダボの上に可動棚をセットします。



## ⑤ 天板カウンター(別売品)の取り付け

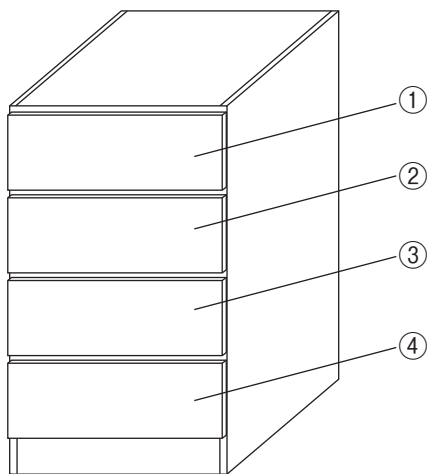
天板カウンターには別途、弊社専用カウンターもしくは集成カウンターをご使用ください。



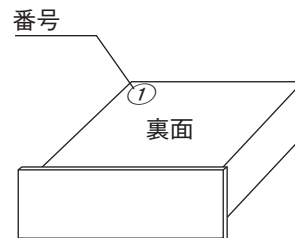
集成カウンターを使用する場合は、キャビネットの前面から35mm以上を確保し、カウンターの幅を調整してカットしてください。専用カウンターを使用の場合は、カットする必要はありません。

同梱品の取り付けビスにビスワッシャーを通して、キャビネットの天板越しに4ヶ所ビス固定します。ビス取り付け後、キャップを取り付けてください。引出しユニットは引出しを取り外してビス固定してください。

## ⑥ 引出しユニット施工時のお願い



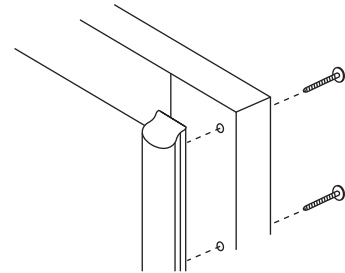
引出し前板のクリアランスは個々に調整していますので、元の位置と違う場所に入れますと、上下のクリアランスが崩れるため、番号の通りに取り付けてください。



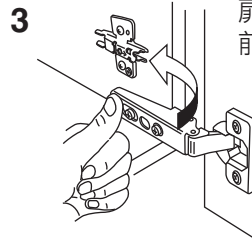
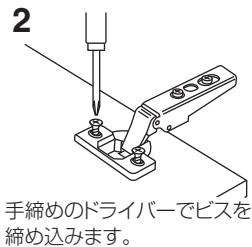
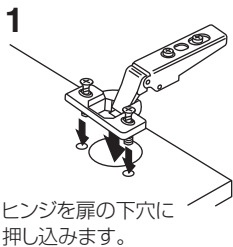
# 3. 扉の取り付け・調整方法

## ① 取っ手の取り付け

扉の所定の位置に取っ手をビスで固定します。(同梱品)



## ② 扉の取り付け(スライド丁番の取り付け)

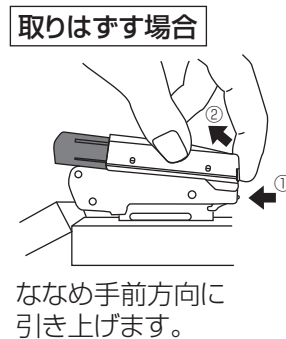
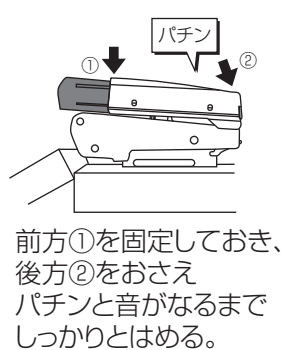
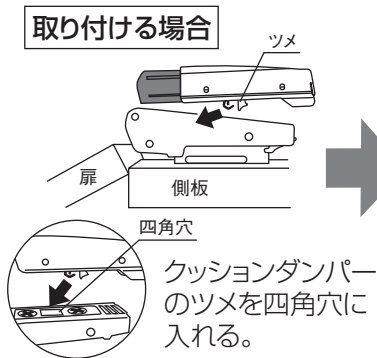


扉をキャビネットに取り付けるにはヒンジアームの前部を先に合わせ座金に軽く指で押すだけです。

### ⚠ 注意

扉にヒンジを取り付ける際には、インパクトドライバーを使用しないでください。

## ③ クッションダンパー(ブルーモーション)の着脱



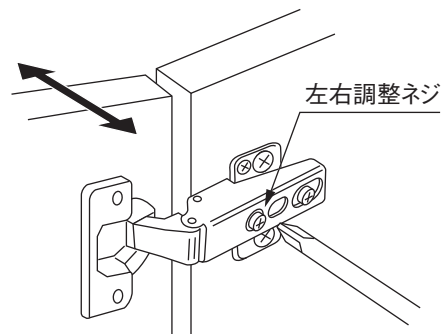
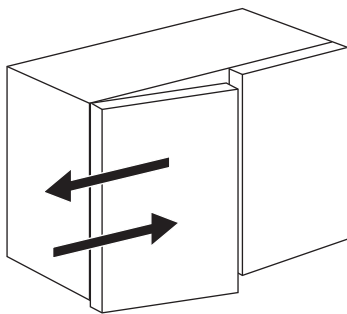
### ⚠ 注意

無理な脱着は、部品破損原因になります。

## ④ 扉の調整(スライドヒンジの調整)

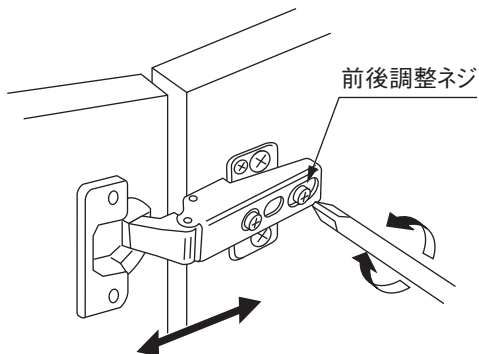
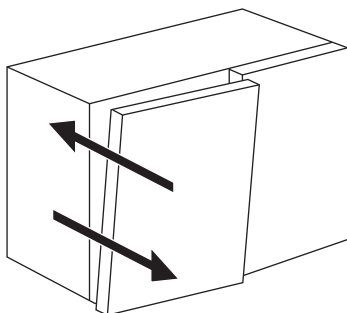
### 扉の左右調整

- ◆左右調整ネジを回して左右調整してください。  
アジャスト量:扉の内方向4mm



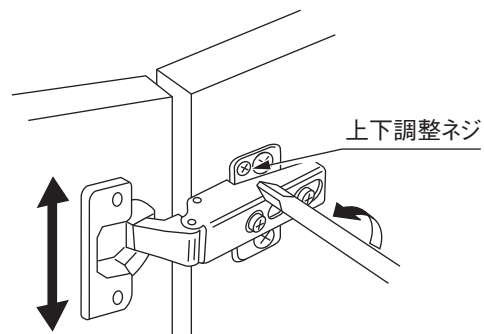
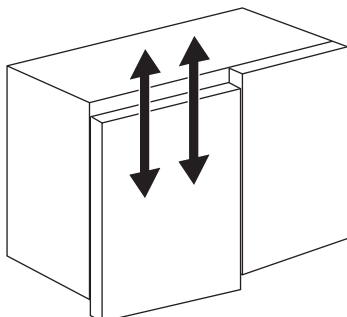
### 扉の前後調整

- ◆前後調整ネジを回して前後調整してください。  
アジャスト量:扉の前方向2mm  
扉の後方向2mm  
(合計4mm)



### 扉の上下調整

- ◆上下調整ネジを回して上下調整してください。  
アジャスト量:扉の上方向2.5mm  
扉の下方向2.5mm  
(合計5mm)



## お願い

調整ネジの調整はインパクトドライバーを使用しないでください。  
調整ネジの破損の原因になりますので必ず手締めドライバーで調整してください。